

普及活動情勢報告（令和6年7月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

吾北地区のユズ生産の安定化を目指して ～J A高知県コスモスユズ部会研修会の開催～



6月21日、J A高知県コスモスユズ部会が吾北開発センターで研修会を開催し、生産者18名が参加しました。

軽労化を推進するため、果樹試験場からドローン防除の研究成果を、農業改良普及課からは、優良園地継承のための取組、新植・改植事業やユズ栽培技術情報を紹介した「ゆず便り」の発行等を報告しました。

多岐にわたる内容でしたが、生産者は熱心に聴講し、農薬に関する質問やゆず便りのバックナンバーがほしい等、多くの質問と要望がありました。

農業改良普及課は、吾北地区のユズの産地基盤の維持・強化と生産の安定を目指して、生産者とともに歩んで参ります。

新たな労働力の確保を目指して ～ピーマン収穫体験会の開催～



6月21日、ピーマン収穫体験会をJ A、土佐市、農業改良普及課で協力して開催し、J A高知県女性部のメンバー5人が収穫作業を体験しました。

農業改良普及課は、参加者に付き添いながら、作業のポイントを説明したり、感想の聞き取りを行いました。参加したメンバーは、全員が非農家で初めての経験とのことでしたが、「想像していたより簡単で楽しかった」「仕事をしているので、土日や休日の時間を使ったパートならやってみたい」といった意見を聞くことが出来ました。

農業改良普及課は、関係機関と協力して、新たな労働力の掘り起こしの取組を支援します。

新たな担い手確保体制確立を目指して ～久万高原町農業公社先進地視察～



6月27日、いの町農業公社が新規就農者の確保に向けて、愛媛県久万高原農業公社に先進地視察を行い、農業公社の研修指導者2名、関係機関6名が参加しました。

担い手の研修体制の説明を受け、研修生が建てたハウスを見学し、公社から農地確保の仕組みや研修指導者の人数等について、関係機関からはハウス導入時の事業内容等の質問が出されました。また、研修ハウスでは、研修生の生の声も伺い、充実した視察となりました。

農業改良普及課は、今回の内容を参考に関係機関と連携して、担い手確保の体制作りを支援していきます。

ピーマン・キュウリでの増収に向けて
～土佐市環境制御技術研究会で勉強会を開催～



6月28日、土佐市環境制御技術研究会が勉強会を開催し、土佐市・高知市春野町管内の生産者21人が参加しました。農業技術センター研究員を講師に招き、ピーマンとキュウリに関する近年の試験結果の説明を受けました。農業改良普及課は、研究会役員やJAと連携し、多くの生産者が参加できるよう、勉強会の内容の企画や周知について支援しました。

参加者からは、「産地振興のためには生産者が積極的に活動していくことが必要」「定期的に勉強会をやっていこう」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、産地振興に向けた取組を実施していきます。

土佐市の担い手確保に向けて
～高知暮らしフェアに参加～



6月29日、30日、大阪府及び東京都で開催された『高知暮らしフェア』に土佐市とともに参加し、来場者に土佐市での就農等についてPRを行いました。

土佐市のブースには合わせて29組（うち農業にかかる相談5組）が立ち寄りしました。農業改良普及課は、産地提案書を用いて産地紹介や求める人材、地域おこし協力隊、農業で働きたい人と農家をマッチングする『あぐりマッチこうち』等について説明しました。

面談者の中には農業担い手育成センターで開催されるアグリ体験合宿の申込みを希望された方もおり、土佐市での就農に繋がれるように、その後の状況確認等を行っていきます。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して積極的に就農相談会等に参加し、担い手の確保に取り組んでいきます。